

子ども教育学科カリキュラムポリシー

子ども教育学科は、ディプロマポリシーに基づき卒業認定・学位授与の方針に掲げた資質・能力を身につけるために、学科科目等を体系的かつ系統的に編成し、学生が主体的・協働的に学ぶ意欲・態度を育成します。

1. 学習方法・内容

1-1. 学習方法

- (1) シラバスに記載された授業の進め方や授業時間外の学修に沿って、能動的な学習を促します。
- (2) 講義・演習科目のみならず、1年次から4年次にわたる連続的且つ系統的な少人数のゼミ活動などを中核として、グループワーク、ディスカッション等を通して、他者と協調・協働し自ら学ぶ時間を設定します。

1-2. 学習内容

(1) 教養科目

「教養科目」は「環境とサイエンス」「人間の歴史と思想」「現代社会と人間」の領域で整理し、主に1～2年次に履修します。子どもを幅広く理解し実践的に支える「子どもスペシャリスト」として求められる基盤の育成を図ります。具体的には、道徳心を持ち、豊かな人間力と実践力のある人間発達の専門家としての資質などを幅広く学ぶために日本国憲法などを必修科目として修得します。また、都城の歴史と文化を必修とし、地域社会に即した子ども理解が可能となるような科目を履修できるようにしています。

(2) 専門教育科目

「専門基礎科目（専門基礎分野）」は主に1～3年次に履修し、変動する社会の中で、求められる支援を幅広く高度に実践できる柔軟な専門性を有する人間発達の専門家の基礎として、教育原理や教育心理学などを学ぶとともに、子どもの発達と現代社会などの社会や自然環境と子どもの発達を包括的な視点で捉えることができる科目を構成しています。「食・緑・人」を基盤とした人間発達の専門家として、常に自己研鑽に努め、自らの可能性を高め続けられる能力を育成するために、本学3学部の特性を活かした「特色科目」子どもの食と栄養、子どもと自然、子どもの野外リクリエーションなどを配置しています。

「専門教育科目（専門分野）」は主に2～3年次に履修し、基礎的免許科目以外にも特別支援教育関連科目を非コース制により広く履修可能とすることにより、現代的課題に即した実践力が身につけられるようにしています。また、専門科目を「子どもの心身」「子どもと地域」「子どもと自然環境」「子どもの保育と教育」の領域カテゴリーで整理し、バランスよく効果的な履修を可能としています。

(3) キャリア形成科目

学生の職業的・社会的なキャリア形成に向けて、4年間を通して「キャリア形成科目」を展開しています。主な科目としては、免許取得科目以外にも、1年次に、「キャリア入門」「キャリアデザイン」（教養科目）、3～4年次に複数の「教職実践演習」（専門科目）を配置しています。

(4) 卒業研究

研究倫理や人権に配慮した研究態度ならびに研究の進め方を学び、科学的・論理的思考力の修得に向けて、卒業研究を必修としています。専門科目で学んだ知識や理解と入学時から系統的に展開された少人数ゼミ（子ども教育入門から子ども教育専門ゼミⅡまで）を応用して、実践的かつ専門的な知識体系に基づく論理構築力や科学的探究力を培います。

2. 学習成果の点検・評価

(1) 各科目の学修成果

大学共通の基準(S～D 評価)で評価を行います。各科目の評価基準はシラバスに明記し、学修成果を点検・評価し、単位認定を行っています。

(2) 短期的な学修成果

履修計画や履修状況を的確に把握しながら、適切な学修支援に努めます。学生の成績は単位修得状況・GPA 等により管理し、担当教員による面談により、定期的に点検・評価します。学習上の問題が懸念される学生には、助言・指導を行います。教育方法については、学生による授業評価アンケート結果等を踏まえて、授業改善を行います。

(3) 卒業時の学修成果

4年間の学修成果については、所定の単位を修得したことをもって本学の教育目標を達成したと判断し、学位を授与するものとします。

